PC98-

Aate NX Du-x

ハードウェア 拡張ガイド

NEC

周辺機器を接続する前に

周辺機器を利用する





このマニュアルは、本機の内部構造および本機の機能 を拡張する機器の取り付け方を説明しています。

このハードウェア拡張ガイドは、以下の機種について書いてあります。

PC98-NX シリーズ Mate NX

MA45D/H、MA45D/M、MA35D/M

MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、MA30H/S

MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/L

LANボード/FAXモデムボード、メモリ容量については、 お客様が選択できるようになっているため、各モデルの 仕様に併せてお読みください。なお、選択できる項目は、今 後増える可能性があります。

型番と機能仕様についての詳細は、『活用ガイド ハー ドウェア編』の「PART4 付録」をご覧ください。

1998年11月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



▲ 注意 人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ 発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左記の記号の場合は、感電の可能性が想定されることを示します。感電注意のほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれのマークとともに記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

チェック?!
 してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ
 利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機 次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate NX MA45D/H, MA45D/M, MA35D/M MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、MA30H/S MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/L *本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかりま す。型番の調べ方・読み方については、『はじめにお読みく ださい」と『活用ガイド ハードウェア編』「PART3 付録」 (Windows NT モデルの場合は PART4 付録」)をご覧くださ 11. ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMA45D/ 本体 H, MA45D/M, MA35D/M, MA40D/S, MA35D/S, MA33H/S、MA30H/S、MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、 MA30H/Lを指します。

LAN モデル	LAN ボードが標準実装されているモデルです。		
ミニタワー型	次のモデルを指します。 MA45D/H、MA45D/M、MA35D/M		
デスクトップ型	次のモデルを指します。 MA40D/S、MA35D/S、MA33H/S、MA30H/S		
省スペース型	次のモデルを指します。 MA40D/C、MA35D/C、MA30H/C、MA30H/L		

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft _® Windows _® 98 operating system 日本語版 およびMicrosoft _® Windows _® 95 Operating System およびMicrosoft _® Windows NT _® Operating System Version 4.0
Windows 98	Microsoft₀ Windows₀ 98 operating system 日本語版
Windows 95	$Microsoft_{\otimes}Windows_{\otimes}95OperatingSystem$
Windows NT Windows NT 4.0	$Microsoft_{\circledast}WindowsNT_{\circledast}OperatingSystemVersion4.0$

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- 本機のイラストは、特にことわりのない場合、ミニタワー型はMA45D/M、デスクトップ型はMA40D/S、MA35D/S、省スペース型はMA40D/C、MA35D/Cのものを使用しています。
- ・このマニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気 付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへ ご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずい かなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備 や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図され ておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが 生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知くたさい。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 98、Windows 95、Windows NTおよび 本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT, NetMeeting, Outlook, およびWindows, Windows NTのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。 Celeronは、Intel Corporationの商標です。 PS/2はIBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。 本製品は日 本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 また、当社は本製品に関し海外での保守サー ビスおよび技術サポート等は行っておりません。 このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような内容で構成されています。

PART1 周辺機器を接続する前に

周辺機器を本機に接続する場合に注意しなければならない情報について説明しています。

PART2 周辺機器を利用する(ミニタワー型) ミニタワー型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、 PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART3 周辺機器を利用する(デスクトップ型) デスクトップ型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクトライブ、 PCIボートなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART4 周辺機器を利用する(省スペース型) 省スペース型に接続できる周辺機器の概要とメモリやハードディスクドライブ、 PCIボードなどの内蔵機器を増設する方法について説明しています。

PART5 付録

本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
ご注意	iv
このマニュアルの構成	v
目次(このページです)	vi
索引	x

周辺機器を接続する前に

接続にともなう注意点	2
接続前の確認	2
プラグ&プレイ セットアップについ	۲3
デバイスドライバの追加について	3
接続時に注意すること	4
接続がうまくできない場合	5
リソースの競合が起こったら	7

1

PART 周辺機器を利用する(ミニタワー型) 9

接続できる周辺機器	10
本体カパー類の取り外し	12
レフトカパーの取り外し	12
レフトカパーの取り付け	14
フロントマスクの取り外し	16
ファイルベイカバーの取り外し	18
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	
取り付け前の確認	19
増設 RAM サブボードの取り外し	21
増設 RAM サブボードの取り付け	22
メモリ容量の確認方法	23
PCI ボードの取り付け	24
取り付け前の確認	24
PCI ボードの取り付け	25
AGP ボードの取り外し	
AGP ボードの取り外し	28
マザーボードの取り外し/取り付け	



目 次



マザーボードの取り外し	30
マザーボードの取り付け	32
ファイルベイ用内蔵機器の増設	
増設前の確認	34
内蔵3.5インチペイ	
5 インチベイ	41
CPU の取り外し/取り付け	
CPU の取り外し	47
CPU の取り付け	49

周辺機器を利用する(デスクトップ型)... 51

接続できる周辺機器	
本体カパー類の取り外し	53
ルーフカパーの取り外し	53
ルーフカパーの取り付け	55
ハードディスクプラケットの取り外し	57
ファイルペイカパーの取り外し	58
フロントマスクの取り外し	59
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	60
取り付け前の確認	60
増設 RAM サブボードの取り外し	63
増設 RAM サブボードの取り付け	64
メモリ容量の確認方法	65
PCI ボードの取り付け	
取り付け前の確認	66
PCI ボードの取り付け	67
AGP ボード、マザーボードの取り外し/取り付け	71
マザーボードの取り外し	71
マザーボードの取り付け	74
ファイルベイ用内蔵機器の増設	77
増設前の確認	77
3.5 インチベイ	79
CD-ROM ドライブの取り外し/取り付け	

PART



	CPU の取り外し/取り付け	
	CPU の取り外し	
	CPU の取り付け	92
PART	周辺機器を利用する(省スペース型)	95
	接続できる周辺機器	96
	本体カバー類の取り外し	97
4	ルーフカパーの取り外し	97
	ルーフカバーの取り付け	
	増設 RAM サブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	100
	取り付け前の確認	100
	増設 RAM サブボードの取り外し	103
	増設 RAM サブボードの取り付け	105
	メモリ容量の確認方法	107
	PCI ボードの取り付け	108
	取り付け前の確認	108
	PCI ボードの取り付け	109
	CPU の取り外し/取り付け	110
	CPU の取り外し	110
	CPU の取り付け	114
PART	付録	. 117
_	SCSI インタフェース機器の増設	118
5	Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)について	118
U	接続できる機器について	118
	接続時の注意	121
	ストラップスイッチの設定(ミニタワー型)	122
	ストラップスイッチを設定してリング機能を使用する	122
	パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)	123
	ストラップスイッチの設定(デスクトップ型)	125
	ストラップスイッチを設定してリング機能を使用する	125
	パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)	127
	ストラップスイッチの設定(省スペース型)	129



ページ太字:説明や作業のあるページを指します。 ページ細字:図や文章に出てくるページを指します。

英数字

3.5 インチベイ
5 インチベイ 18, 41, 86
AGP ボード 28, 71
AGP ボードの取り外し 28
CD-ROM ドライブの取り付け 46,84
CD-ROM ドライブの取り外し 44,82
CPU の取り付け 49, 92, 114
CPU の取り外し
PCI ボード
PCIボードの取り付け 25, 67, 109
PD ドライブ 44
Readme5
SCSI ID No 121
SCSIインタフェース機器 118, 120
SCSI 接続ケーブル 118
Ultra SCSI インタフェースボード 118

サ行

終端 BOX			120
周辺機器			2
ストラップ	スイッチ	122, 1	25, 129
スロットの	種類と数		34, 77
接続前の確	認		2

タ行

デバイスドライバ		3
電源ケーブル	34,	77
ドライブの設定	35,	78

ナ行

内蔵3.5インチベイ		36
内蔵機器	53,	97
内蔵機器の増設	34,	77

八行

ハードディスクドライブの増設		36
ハードディスクブラケットの取り外し	·	57
パスワードの解除 123, 12	7, 1	30
ファイルベイカバー	18,	58
<mark>ファイルベイカバーの取り</mark> 外し …	18,	58
ファイルベイ用内蔵機器	34,	77
プラグ&プレイ		3
フロントマスク	16,	59

フロントマスクの取り外し … 16, 59

マ行

マザーボードの取り付け		32,	74
マザーボードの取り外し		30,	71
メモリ	. 19,	60, ⁻	100

ラ行

リソース	2
リソースの競合	7
リング機能 122, 12	25, 129
ルーフカバー	53, 97
ルーフカバーの取り付け	55, 99
ルーフカバーの取り外し	53, 97
レフトカバー	12
レフトカバーの取り付け	14
レフトカバーの取り外し	12



ここでは、接続できる周辺機器や接続する際の注意事項について説明します。

PART

この章の内容

接続にともなう注意点......2

接続にともなう注意点

周辺機器を取り付ける場合、次のようなことに注意してください。

接続前の確認

取り付けたい周辺機器は、このパソコンで使えるものですか? 取り付けたい周辺機器がこのパソコンで使えるものかどうか、周辺機 器のマニュアルで確認するか、製造元に問い合わせてください。なお、 NEC製の周辺機器で接続可否の確認がとれているものについては、次 のWebサイトで紹介されています。

http://www.nec.co.jp/picrobo/

リソースは確保されていますか? 周辺機器を使うには、「リソース」が必要です。まず、Windows 98/95の 場合ば、デバイスマネージャ」で、Windows NTの場合は、Windows NT 診断プログラム」で、その周辺機器が使うリソースがあいているかどう か確認してください。リソースが足りない場合は、使わない機器や機能 のリソースを空けて、その分を取り付けたい周辺機器が使えるよう設 定を変更します。

プラグ&プレイ セットアップについて

周辺機器の中には、デバイスドライバ(デバイスのためのソフトウェア) のセットアップが必要なものがあります。 プラグ&プレイとは、接続したハードウェアを自動的に検出してセット アップを行うWindows 98/95の機能です。 新しいハードウェアを接続すると、次に電源を入れたときにWindows 98/ 95が自動的に新たなハードウェアを検出し、必要に応じてデバイスドラ イバウィザードが起動します。外付けの周辺機器を接続した場合は、本体 の電源を入れる前に周辺機器の電源を入れてください。なお、Windows NT 4.0はプラグ&プレイによるセットアップはできません。



周辺機器にデバイスドライバのフロッピーディスクまたはCD-ROMが添付されている場合は、周辺機器の取扱説明書の指示に従ってセットアップを行ってください。

デバイスドライバの追加について

- 周辺機器によってデバイスドライバのセットアップが必要な場合があります。周辺機器のマニュアルをご覧になり、必要なデバイスドライバを組み込んでください。
- ・デバイスドライバを組み込んだ後、本機の再起動を求められることが あります。その際にはほかの操作をせずに直ちにWindowsを再起動し てください。
- デバイスドライバを組み込んだ後の再起動の際には、通常よりも時間 がかかることがあります。正常に再起動されるまで電源は切らないで ください。

接続時に注意すること



接続がうまくできない場合

ケーブルは正しく接続されていますか?

見落としがちなことですが、パソコンや周辺機器を動かしたときなどに、ケーブルが外れたりすることはよくあります。ケーブルがきちんと 接続されているか、確認してください。

本体内部のケーブル類はきちんと接続されていますか? 本体内部に機器を取り付けたときには、気付かないうちに内部の信号 ケーブルなどを引っぱってしまって、接続がゆるんでしまうことがあ ります。本体内部のケーブル類がきちんと接続されているかどうか、確 認してください。

デバイスドライバは組み込みましたか? 周辺機器を取り付けてもデバイスドライバが組み込まれていないと、 使うことはできません。周辺機器のマニュアルをご覧になり、デバイス ドライバを組み込んでください。

デバイスドライバは最新のものですか? 周辺機器のデバイスドライバは、知らないうちに改善されて新しく なっていることもあります。「デバイスドライバの組み込み方は正しい のに、うまく動かない」といった場合は、デバイスドライバを最新のも のにするとうまく動くようになることもあります。周辺機器の製造元 に問い合わせて、最新のデバイスドライバを入手してください。

Readmeファイルを読みましたか?

アプリケーションに付いているReadmeファイルには、マニュアルやヘ ルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワー ドパッドなどのワープロで開いてお読みください。本機には、「スター ト」ボタン 「プログラム」「補足説明」に本製品のご利用にあたって の補足説明があります。

周辺機器を複数取り付けたため、何が原因か分からなくなっていませんか?

このような場合は、取り付けた機器をいったん全部外します。その後、 1つずつ取り付けてはパソコンを起動するという作業を繰り返します。 パソコンが起動しなくなるなどの現象が起きる機器があったら、その 機器に問題があります。リソースの設定やデバイスドライバの設定な どが正しくできているか、確認してください。 トラブルが起きていませんか?

『活用ガイド ソフトウェア編』PART4 トラブル解決Q&A の目次か らあてはまりそうなトラブルを探してください。あてはまる項目が見 つからない場合は、「トラブルを解決するには(ヒント)」をご覧ください。

リソースの競合が起こったら

▼チェック? PCIボードは、プラグ&プレイに対応しているため、基本的には設定不要ですが、動作しない場合はリソースの競合が起こっているかもしれませんので、ここをお読みください。 最も競合を起こしやすいのは、本機に新しい機器を追加するときです。Windows 98/95の場合は、新しい機器を検知した際にシステムの状態を調べます。新しい機器がプラグ&プレイに対応している場合は、リソースが競合しないように自動的に設定されます。新しい機器がプラグ&プレイに対応していない場合でも、リソースが競合する場合にはドライバを組み込めません。本機が起動しなくなるような競合に対しては、二重三重の保護機能が働いています。リソース競合の発生は、「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」タブで確認することができます。ドライバの異常、リソースの競合など、何らかの障害があると、アイコンに黄色い「!」マークや赤い「×」マークが表示されます。Windows NTの場合は、「スタート」ボタン「プログラム」 「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」で確認することができます。

ジチェック!! Windows 98/95でUSB109キーボードをご使用の場合は、PS/2互換マウス ポートに黄色い!」がついていますが、異常ではありません。 異常が表示された場合は、まずその機器のプロパティを開いてください。 「デバイスの状態」の欄に、異常の原因が表示されます。異常の原因がリ ソースの競合であった場合は、Windows 98/95では次の方法で解決する ことができます。

- 1 [リソース]タブを開く
- 2 [自動設定を行う]の欄にチェックマークが付いていたら、☑を クリックし にする
- 3 「リソースの種類」から競合しているリソースを選択し、ダブル クリック

4 表示されたリソースの設定値を変更

選択した機器やリソースの種類によっては、設定値を変更できない場合 があります。その場合、競合を起こしているもう一方の機器の設定値を変 更してください。なお、本機のリソースについては、『活用ガイド ハード ウェア編』「PART3 付録(Windows NTモデルの場合は「PART4 付 録」)」の「割り込みレベル一覧」または「DMAチャネルの割り当て」をご覧 ください。



周辺機器を利用する(ミニタワー型)

ここでは、ミニタワー型に接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け方法について説明します。

この章の内容

接続できる周辺機器	10
本体カパー類の取り外し	12
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	19
PCI ボードの取り付け	24
AGP ボードの取り外し	28
マザーボードの取り外し/取り付け	30
ファイルベイ用内蔵機器の増設	34
CPU の取り外し/取り付け	47



接続できる周辺機器

ミニタワー型には、次のような別売の周辺機器を接続できます。





本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を増設するときなどに必要なカバー類の 取り外し方について説明します。

レフトカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する 場合は、本体のレフトカバーを取り外す必要があります。

1 電子ロックを解除し、盗難防止用の錠を使用している場合は、 錠を取り外す

メモ

電子ロックの解除のしかたについては『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART1 本体の構成各部」の「運用管理機能」をご覧ください。

- 2 本機の電源を切る
- 3 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース 線など)を取り外す

4 カバーロックを上向きにスライドさせ、ロックを解除し、凹部 を押してレフトカバーを後方へ引く



5 レフトカバー上部を外側に倒し、上に引き上げて取り外す



レフトカバーの取り付け

レフトカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けや すくなっています。

- 1 カバーロックが上になっていることを確認する
- 2 レフトカバーの下部と本体の下部を合わせる
- 3 レフトカバーをフロントマスクから少し開くように載せる レフトカバー裏側のツメと本体の穴を合わせます。



4 レフトカバーを本体に押し当て、矢印方向にスライドさせる







- 6 盗難防止用の錠を取り付ける
- 7 ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体に接続する
- 8 電子ロックを使用する場合は、本機の電源を入れて電子ロック をロック状態に設定する

メモ

電子ロックの設定のしかたについては「活用ガイド ハードウェア編」の 「PART1 本体の構成各部」の「運用管理機能」をご覧ください。

▼チェック // 南京錠等の取り付けは、必ず電子ロックをロック状態にして行ってください。

フロントマスクの取り外し

増設ハードディスクドライブやPCカードドライブなど、ファイルベイ(5 インチベイ)に内蔵機器を取り付ける場合は、レフトカバーとフロントマ スクを取り外す必要があります。

1 フロントマスク裏側のツメ2ヶ所を、ドライバの先などで押してロックを外す



- 2 フロントマスクを手前に引いてから上に持ち上げて取り外す
- チェック // フロントマスクを取り外すときに、ポリューム、ヘッドホンのコネクタを傷め
 ないように注意してください。



ファイルペイカバーの取り外し

PCカードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器を、ファイ ルペイ(5インチペイ)に取り付ける場合は、ファイルペイカバーを取り外 す必要があります。

- 1 ツ火(4ヶ所)を矢印の方向に押してロックを外す
- 2 ファイルベイカバーを内側から外側に押して取り外す



増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

本機のメモリは、最大768MBまで増設することができます。大量のメモリ を必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、別売の増設 RAMサブボードを取り付けることで、メモリを増やすことができます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAM サブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大3枚まで増設できます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M018	32MB	
PK-UG-M019	64MB	
PK-UG-M020	128MB	
PK-UG-M021	256MB	

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が大きい方から埋まるように取り付けてください。 スロット#2から順番に取り付けることになります。メモリ容量による 取り付け順序の制限はありません。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット #2	スロット #1	スロット #0
32MB	32MB	-	-
64MB	64MB	-	-
	32MB	32MB	-
96MB	64MB	32MB	-
	32MB	32MB	32MB
128MB	128MB	-	-
	64MB	64MB	-
	32MB	32MB	64MB
ΤΟυΙΛΙΒ	TZOTVI-	32MB	-
320MB	128MB	IZOTVI	64MP
384MB	128MB	128MB	128MB
768MB	256MB	256MB	256MB

取り付けられる増設RAMサブボード

スロットの位置



増設RAMサブボードの取り外し

- ◆チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
 - 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、 ゆっくり横に置く
 - 3 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



- 4 増設RAMサブボードを上へ引き抜く 取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて 保管してください。
- 5 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す
- 6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)

増設RAMサブボードの取り付け

- ◆チェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
 - 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、 ゆっくり横に置く
 - 3 増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込むスロット#2、#1、#0の順番で取り付けてください。
- ジチェック!/ 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



4 左右2ヶ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサ ブボードをしっかり押し込む



- ジチェック // 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっかり押し込まれていないと故障の原因となります。
 - 5 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す
 - 6 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)

メモリ容量の確認方法

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブ ルクリックし、「システムのプロパティ」の「全般」タブ(Windows 95の場 合は「情報」タブ)の中にメモリの容量が表示されます。

◆チェック パ メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
 されるまで時間がかかることがあります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けら れているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してくださ い。


PCIボードの取り付け

PCIスロットには、本機の機能を拡張するための各種PCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

PCIボードは、横幅が約33cm(フルサイズ)までありますが、約17cm (ハーフサイズ)以上のボードをPCIスロット#2~#5に取り付けるため には下記条件がありますので確認してください。



取り付け条件

PCI スロット #5	フルサイズまで取り付け可能です。
PCI スロット #4	「接続できる周辺機器」(P.10)
PCI スロット #3	フルサイズまで取り付け可能ですが、マザーボー
PCI スロット #2	ドを取り外して、PCIボードを取り付けてください。
	「マザーボードの取り外し」(P.30)
PCI スロット #1	LAN ボードまたは FAX モデムボード標準(固定)

PCIスロット#2、#3には次の制限があります。

・ハーフサイズ(横幅17.6cm)以上のPCIボードの場合、奥行が10.6cm以下であること。



地上波データ放送/TV受信ボードを取り付ける場合は、PCIスロット#2 へ取り付けてください。

PCIボードの取り付け

- CIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCI ボードを扱うと、PCIボードが破損する原因となります。PCIボードに触れる 前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を 取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の 部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分 を手で触れないように注意してください。
 - 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
 - 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、 ゆっくり横に置く
 - **3** PCIスロット#2、#3にPCIボードを増設するときには AGPボー ドの取り外し」の手順で、AGPボードを取り外す(P.28)
 - 4 PCIアダプタロックのネジを1本外し、PCIアダプタロックを取 り外す



5 PCIアダプタプレートを装置の内側から外側に向かって押し出し、取り外す





メモ

PCIスロット#2、#3に横幅が約17cm(ハーフサイズ)以上のPCIボードを取 り付ける場合は、マザーボードを途中まで取り外すと作業がしやすくな ります。「マザーボードの取り外し/取り付け(P.30)

6 PCIボードを取り付ける



7 PCIアダプタロックを取り付けて、手順4で取り外したネジを取 り付ける



- 8 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す
- **9** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)

AGP**ボードの取り外し**

別売のPCIボードを増設する場合や、マザーボードを取り外す場合に、あ らかじめ内蔵されているAGPボード、AGPボードフレームを取り外す必 要があります。

AGP**ボードの取り外し**



- ♥チェック! ・AGPボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で AGPボードを扱うと、AGPボードが破損する原因となります。AGPボードに 触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の 静電気を取り除くようにしてください。また、AGPボードを持つときは、 ボードの縁の部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください、特 に、端子の部分を手で触れないように注意してください。
 - ・取り外したAGPボードは大切に保管してください。
 - 1 AGPサポートブラケットを固定しているネジを1本外し、AGP サポートブラケットを矢印の方向に引いて取り外す



2 AGPボードを固定しているネジを1本外し、AGPボードを上に 引き抜く





PCIスロット#2、#3に、横幅が約17m(ハーフサイズ)以上のPCIボードを 取り付ける場合に、作業をしやすくするため、マザーボードを途中まで取 り外します。

 チェック ?? マザーボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でマ ザーボードに触れると、ボードが破損する原因となります。ボードに触れる前 に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気 を取り除くようにしてください。

マザーボードの取り外し

- 1 「AGPボードの取り外し」の手順で、AGPボードを取り外す (P.28)
- 2 ボトムプレートを取り付けてあるネジを1本外す



3 LANモデルの場合、LAN電源ケーブルと電子ロック信号ケーブ ルをマザーボードから引き抜く その他のモデルの場合は、電子ロック信号ケーブルをマザー

ボードから引き抜く







マザーボードの取り付け



1 マザーボードを途中まで押し込む



2 カチッと音がするまでボトムプレートを閉じてからネジ止め する



- 3 LANモデルの場合、LAN電源ケーブルと電子ロック信号ケーブ ルをマザーボードに接続する
- 4 「AGPボードの取り外し(P.28)と逆の手順で、AGPボードを取り付ける その他のモデルの場合は、電子ロック信号ケーブルをマザー ボードに接続する



 チェック ?? アラートオンLANケーブルと電子ロック信号ケーブルのコネクタには向きが あります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無 理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。

ファイルベイ用内蔵機器の増設

増設前の確認

スロットの種類と数

本機は、増設用のファイルベイとして、内蔵3.5インチベイを1スロット、 5インチベイを3スロット(1スロットはCD-ROMドライプまたはPDド ライブが実装済)装備しています。

電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。

電源ケーブルコネクタ(大).....3本



/・内蔵3.5インチベイ用 ・5インチベイスロット#2用 、5インチベイスロット#3用
/

電源ケーブルコネクタ(小).....1本(5インチベイ用)







信号ケーブル

本機には信号ケーブルは装備されていません。ファイルペイ用内蔵機 器を増設する場合には、別途ご用意ください、

ドライブの設定

標準で内蔵されているハードディスクドライブ、CD-ROM ドライブま たはPDドライブ、フロッピーディスクドライブの設定は次の通りで す。ファイルペイに増設する内蔵機器のマニュアルをご覧のうえ、正し く設定してください。

- ・ハードディスクドライブ
- Master(Slaveへの変更は不可)
- ・ CD-ROM ドライブ
- Master(Slaveへの変更は不可)
- PDドライブ
- Master(Slaveへの変更は不可) ・フロッピーディスクドライブ ユニットアドレス=0(0以外への変
 - 更は不可)

内蔵3.5インチベイ

内蔵3.5インチベイには、ハードディスクドライブを増設することができます。

ハードディスクドライブの増設

- - 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
 - 2 標準で内蔵されているハードディスクドライブの信号ケーブ ルを電源の側面に付属しているクランプから外して、信号ケー ブルと電源ケーブルのコネクタを標準で内蔵されているハー ドディスクドライブから慎重に引き抜く



3 標準で内蔵されているハードディスクドライブを固定してい るブラケットの下部にあるレバーを押し上げながら、ブラケッ トに組み込んである状態でハードディスクドライブを引き出 す



4 標準で内蔵されているハードディスクドライブの上の位置に、 増設用ハードディスクドライブをハードディスクドライブに 添付してあるネジ4本で固定する



5 ブラケットの下部のレバーがカチッと音がするまで、ハード ディスクドライブを押し込む



ハードディスクドライプを増設する場合 標準で内蔵されているハードディスクドライブと増設用 ハードディスクドライブのコネクタに信号ケーブルのコネ クタをしっかり差し込む

SCSIインターフェース機器を増設する場合 増設用ハードディスクドライプおよびSCSIケーブルのマ ニュアルに従い信号ケーブルの接続を行う



6

7 標準で内蔵されているハードディスクドライブの電源ケーブ ルから分岐している電源ケーブル(電源ケーブルコネクタ(大)) をポリ袋から取り出し、増設用ハードディスクドライブのコネ クタに接続する



8 ハードディスクドライブの信号ケーブルを電源の側面にある クランプに固定する



9 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14) 増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブにはフォーマットが必要なものもあります。 ハードディスクのフォーマット方法は、増設用ハードディスクドライブ のマニュアルをご覧ください。

増設したハードディスクドライブは、例えば次のような方法で確認する ことができます。

- 1 本機の電源を入れ、Windowsを起動する
- 2 Windowsのデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブ ルクリック

増設した分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。 また、増設したハードディスクドライブが1つでも、フォーマットする際 に、ハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコ ンが増えています。

増設したハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合 は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えません。

5インチベイ

5インチベイ用内蔵機器の増設

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
- **2** 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.16)
- **3** 本体内部のカバーの両端の穴に指を入れて、矢印の方向にスラ イドさせ取り外す





▼チェック / 取り外したカバーは紛失しないように、手近な箱や袋に保管してください。

4 5インチベイ用内蔵機器を、奥まで挿入する



5 5インチベイ用内蔵機器の側面を、増設用機器に添付されてい るネジ2本で固定する



6 5インチベイ用内蔵機器に添付されている信号ケーブル、装置 に装備されている電源コネクタをポリ袋から取り出し、接続する

●チェック // 接続方法は、5インチベイ用内蔵機器のマニュアルをご覧ください。



電源コネクタ(大)をスロット#2で使用する場合は、図のように接続してください。

- 7 リムーバブルファイルを増設する場合は、「ファイルベイカ バーの取り外し」の手順で、ファイルベイカバーを取り外す (P.18)
- 8 フロントマスクを、取り外したときと逆の手順で取り付ける
- **9** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)

CD-ROM(PD)ドライブの取り外し

本体に標準で装備されているCD-ROMドライブ(PDドライブ)を取り外して、ほかのファイルベイ用内蔵機器などに交換することができます。

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
- 2 CD-ROM(PD)ドライブを固定しているネジ2本を取り外す



3 CD-ROM(PD)ドライブを少し前に押し出し、電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオケーブルを取り外す







CD-ROM(PD)ドライブの取り付け

- 1 CD-ROM(PD)ドライブをファイルベイに半分ほど挿入する
- 2 CD-ROM(PD)ドライブのオーディオケーブル、信号ケーブル、 電源ケーブルを接続する



3 CD-ROM(PD)ドライブを押し込み、側面をネジ2本で固定する



4 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付ける(P.14)

ぐチェック? CPUは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でCPUを扱うと、CPUが破損する原因となります。CPUに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、CPUを持つときは端子の部分を手で触れないように注意してください。

CPU**の取り外し**

- 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
- 2 スタビライザをたたみ込み、本体を左側面が上になるように、 ゆっくり横に倒す
- 3 FANケーブルコネクタを抜く



4 CPUの両側のレバーを、カチッと音がして、レバーが下図のような状態を保つまで内側に倒す ロックが解除されます。



- - **5** 手順4の状態のままCPUを引き抜く



CPU**の取り付け**

1 CPUの両側にあるツメ2ヶ所が外側に出ていることを確認する (ツメが外側に出ていない場合はCPUのレバーを矢印の方向に 動かして、ツメが外側に出ている状態にする)



2 CPUをレールに沿って挿入し、カチッと音がして両側にあるツ メが掛かるまで押し込む



3 CPUに付いているFANケーブルコネクタをマザーボードに接続する



- 4 静かに本体を縦置きに戻し、スタビライザを引き出す
- **5** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)



周辺機器を利用する(デスクトップ型)

ここでは、デスクトップ型に接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け 方法について説明します。

この章の内容

接続できる周辺機器	52
本体カパー類の取り外し	53
増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	60
PCI ボードの取り付け	66
AGP ボード、マザーボードの取り外し/取り付け	71
ファイルベイ用内蔵機器の増設	77
CPU の取り外し/取り付け	88



接続できる周辺機器

デスクトップ型には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

MA40D/S、MA35D/Sの場合



本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を増設するときなどに必要なカバー類の 取り外し方について説明します。

ルーフカバーの取り外し

メモリやハードディスクドライブ、PCIボードなどの内蔵機器を増設する 場合は、本体のルーフカバーを取り外す必要があります。

 MA33H/S、MA30H/Sの場合は、手順2へ進む MA40D/S、MA35D/Sの場合は、電子ロックを解除し、盗難防止 用の錠を使用している場合は、錠を取り外す

ХŦ

電子ロックの解除のしかたについては『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART1 本体の構成各部」の「運用管理機能」をご覧ください。

- 2 本機の電源を切る
- 3 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース 線など)を取り外す
- 4 背面のカバーロック2個を外側にスライドさせ、ロックを解除 する



5 左右にある凹部を押しながらルーフカバーを少し後方へ引き 出してから、上方向に持ち上げて取り外す



ルーフカバーの取り付け

ルーフカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けや すくなっています。

1 ルーフカバーを本体にかぶせ、ルーフカバーの前側と本体前側の刻印を合わせ、ルーフカバー裏側のツメと本体の穴を合わせる



- 2 カバーロックが外れていることを確認する
- 3 ルーフカバーを内側に押しながらルーフカバーをフロントマ スク側にスライドさせ、カバーロックを内側にスライドさせ ロックする



- 4 盗難防止用の錠を取り付ける
- 5 ケーブル(電源ケーブル、アース線など)を本体に接続する
- 6 電子ロックを使用する場合は、本機の電源を入れて電子ロック をロック状態に設定する

メモ

電子ロックの設定のしかたについては「活用ガイド ハードウェア編」の 「PART1 本体の構成各部」の「運用管理機能」をご覧ください。

▼チェック! 南京錠等の取り付けは、必ず電子ロックをロック状態にして行ってください。

ハードディスクブラケットの取り外し

フルサイズのPCIボードをPCIスロット#3、#4に取り付ける場合や、PC カードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器を3.5インチベ イに取り付ける場合には、ハードディスクブラケットを取り外す必要が あります。

1 ハードディスクブラケットを取り付けているネジ2本を外し、 ハードディスクブラケットを後方にスライドさせてから取り 外す



ファイルベイカバーの取り外し

PCカードドライブなどのリムーバブルメディア用の内蔵機器を3.5イン チベイに取り付ける場合には、ファイルベイカバーを取り外す必要があ ります。

- 1 「ハードディスクプラケットの取り外し」の手順で、ハードディ スクプラケットを取り外す(P.57)
- 2 本体内側のファイルペイカバーの裏側を押して、ファイルペイ カバーを取り外す



フロントマスクの取り外し

内蔵3.5インチベイに内蔵機器を取り付ける場合や、CD-ROMドライブを 取り外すときにフロントマスクを取り外す必要があります。

1 ~ の順にツメを3ヶ所外し、前に引いて、フロントマスクを 取り外す


増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、 別売の増設RAMサプボードを取り付けることで、メモリを増やすことが できます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAM サブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

MA40D/S、MA35D/Sの場合

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大3枚まで増設できます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M018	32MB	
PK-UG-M019	64MB	
PK-UG-M020	128MB	
PK-UG-M021	256MB	

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。 スロット#2から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット #0	スロット #1	スロット #2
32MB	32MB	-	-
64MB	64MB	-	-
	32MB	32MB	-
96MB	64MB	32MB	-
	32MB	32MB	32MB
128MB	128MB	-	-
	64MB	64MB	-
	32MB	32MB	64MB
TOUIVIB	120 MID	32MB	-
320MB	128MB	IZOWIE	64MP
384MB	128MB	128MB	128MB
768MB	256MB	256MB	256MB

スロットの位置



MA33H/S、MA30H/Sの場合

取り付けられる増設RAMサブボード 本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大3枚まで増設で きます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M005	32MB	
PK-UG-M006	64MB	
PK-UG-M007	128MB	

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。 スロット#0から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

	合計容量	スロット #0	スロット #1	スロット #2
	32MB	32MB	-	-
	64MB	64MB	-	-
		32MB	32MB	-
	96MB	64MB	32MB	-
		32MB	32MB	32MB
	128MB	128MB	-	-
		64MB	64MB	-
		32MB	32MB	64MB
_	TOUMB	TZOTVI	32MB	-
	320MB	128MB	12011E	64MP
	384MB	128MB	128MB	128MB

スロットの位置



増設RAMサブボードの取り外し

- ジチェック?! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
 - 2 増設RAMサブボードの左右のレバーを外側に広げる



- 3 増設RAMサブボードを上へ引き抜く 取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて 保管してください。
- 4 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

増設RAMサブボードの取り付け

- ジチェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
 - 2 増設RAMサブボードを切り欠きAの位置と誤挿入防止機構の 位置を確認し、増設RAMサブボード用コネクタに垂直に差し込 む MA40D/S、MA35D/Sの場合は、スロット#2、#1、#0の順番で取り 付けてください。 MA33H/S、MA30H/Sの場合は、スロット#0、#1、#2の順番で取り 付けてください。
- ◆チェック // 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。



3 左右2ヶ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサ ブボードをしっかり押し込む



- ジチェック! 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっ かり押し込まれていないと故障の原因となります。
 - **4** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

メモリ容量の確認方法

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブ ルクリックし、「システムのプロパティ」の「全般」タブ(Windows 95の場 合は「情報」タブ)の中にメモリの容量が表示されます。

◆チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
 されるまで時間がかかることがあります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けら れているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してくださ い。



PCIボードの取り付け

PCIスロットには、SCSIインタフェースボードなどのPCIボードを取り付けることができます。

取り付け前の確認

PCIボードは、横幅が約33cm(フルサイズ)までありますが、約17cm (ハーフサイズ)以上のボードを、PCIスロット#2~#4に取り付けるため には下記条件がありますので確認してください。



取り付け条件

	フルサイズを取り付ける場合には、ファイルペイ
	(3.5インチベイ)に、内蔵機器が取り付けられて
	いないこと。
	「接続できる周辺機器」(P.52)
	フルサイズまで取り付け可能ですが、マザーボー
PCI スロット #2	ドを取り外して、PCIボードを取り付けてください。
	「マザーボードの取り外し」(P.71)
PCI スロット #1	LAN ボードまたは FAX モデムボード標準(固定)

PCIスロット#2、#3、#4には次の制限があります。

・ハーフサイズ(横幅17.6cm)以上のPCIボードの場合、奥行が10.6cm以下であること。



地上波データ放送/TV受信ボードを取り付ける場合は、PCIスロット#2 へ取り付けてください。

PCIボードの取り付け

- ▼チェック? PCIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCI ボードを扱うと、PCIボードが破損する原因となります。PCIボードに触れる 前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を 取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の 部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分 を手で触れないように注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
 - 2 PCIガイドブラケットのネジを1本外し、PCIガイドブラケット を取り外す



3 PCIスロットカバーを引き抜く



4 PCIボードを取り付ける

ハーフサイズのPCIボードを取り付ける場合 PCIボードを取り付ける



PCIスロット#2にフルサイズのPCIボードを取り付ける場合 「マザーボードの取り外し」の手順でマザーボードを途中 まで取り外す(P.71) PCIボードを取り付ける 「マザーボードの取り付け」の手順でマザーボードを取り 付ける(P.74) PCIスロット#3、#4にフルサイズのPCIボードを取り付ける 場合

フロントマスクを取り外す(P.59)

ハードディスクプラケットを取り付けているネジ2本を外し、ハードディスクプラケットを後方にスライドさせてから取り外す



ファイルベイカバーを取り外す(P.58)

本機に添付されているPCIガイドブラケットのピン(2ヶ 所)を本体側の穴(2ヶ所)に差し込むようにして、PCIガイ ドプラケットを取り付ける

本体側穴(2ヶ所) PCIガイドブラケットのピン(2ヶ所)

PCIボードを取り付ける

- 5 手順2で取り外したPCIガイドプラケットを取り付けてから、ネ ジを取り付ける
- **6** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

AGPボード、マザーボードの取り外し/取り付け

PCIスロット#2に、横幅が約17m(ハーフサイズ)以上のPCIボードを取り 付ける場合に、AGPボード、マザーボードを途中まで取り外します。

 チェック? マザーボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でマ ザーボードに触れると、ボードが破損する原因となります。ボードに触れる前 に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気 を取り除くようにしてください。

マザーボードの取り外し

1 MA33H/S、MA30H/Sの場合は、手順3へ進む MA40D/S、MA35D/Sの場合は、ネジを1本外し、AGPサポートブ ラケットを矢印の方向に引いて取り外す



2 AGPボードを固定しているネジを1本外し、AGPボードを上に 引き抜く



- **3** ハードディスクブラケットを取り外す(P.57)
- **4** サイドブラケットを止めているネジを外して、サイドブラケットを後方にスライドさせてから手前に引いて取り外す



5 MA40D/S、MA35D/SのLANモデルの場合は、マザーボードに接続されているLAN電源ケーブルと電子ロック信号ケーブルを引き抜く

その他のモデルの場合は、マザーボードに接続されている電子 ロック信号ケーブルを引き抜く



- 6 マザーボードに付いているレバーを回し、マザーボードの固定 を外す
- ジチェック マザーボードを引くとき、ケーブル等がマザーボードに引っ掛からないよう 注意してください。マザーボードを引いたとき、マザーボードの端子部分や部 品を触らないように注意してください。



7 ゆっくり静かにマザーボードを引く

マザーボードの取り付け

1 マザーボードの先端がライザーボードのコネクタに差し込ま れるまで押し込む



2 マザーボードが奥まで入ったら、マザーボードのレバーを回し てマザーボードを固定する



3 MA40D/S、MA35D/SのLANモデルの場合は、LAN電源ケーブル と電子ロック信号ケーブルをマザーボードに接続する その他のモデルの場合は、電子ロック信号ケーブルをマザー ボードに接続する



ジチェック // LAN電源ケーブルと電子ロック信号ケーブルのコネクタには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。

4 サイドブラケットのツメ(4ヶ所)を本体側の角穴(4ヶ所)に合わせて、前方にスライドさせ、ネジで固定する



- 5 ハードディスクブラケットを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 6 MA40D/S、MA35D/Sの場合は、AGPボードを取り外したときと 逆の手順で取り付ける



ファイルベイ用内蔵機器の増設

増設前の確認

スロットの種類と数

 ・本機には、増設用のファイルベイを、以下の通り装備しています。
 3.5インチベイ1スロット
 5インチベイ2スロット(1スロットはCD-ROMドライブが実 装済)

 ジチェック ?? 3.5インチベイを使用する場合には、PCIスロット#3,#4にフルサイズのPCI ボードを取り付けることはできなくなります。(ハーフサイズのPCIボードは 取り付け可能です。)

電源ケーブル

ファイルベイ用の電源ケーブルは2種類あり、本体に装備されています。



・5インチベイ用
 ・3.5インチベイ用
 ・予備

電源ケーブルコネクタ(小).....1本(5インチベイ用)







信号ケーブル 3.5インチベイ用IDE信号ケーブル ドライブの設定

- ・標準で搭載されているハードディスクドライブ、CD-ROMドライブ、 フロッピーディスクドライブの設定は下記のようになっていますの で、ファイルベイに増設する内蔵機器のマニュアルをご覧のうえ、正 しく設定してください。
 - ・ハードディスクドライブ ... Master(Slaveへの変更不可)
 - ・ CD-ROM ドライブ Master(Slaveへの変更不可)
 - ・フロッピーディスクドライブ ... ユニットアドレス=((変更不可)

3.5**インチベイ**

本機には3.5インチベイが1スロット用意されています。このベイにはPC カードドライブやフロッピーディスクドライブおよびハードディスクド ライブなどの内蔵機器を増設することができます。

3.5インチベイ用内蔵機器の増設

- ぐチェック ? ここからは、増設する内蔵機器のマニュアルを一緒にご覧になり、増設を行ってください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
 - 2 「ハードディスクブラケットの取り外し」の手順でハードディ スクブラケットを取り外す(P.57)
 - 3 ハードディスクの場合は、ハードディスクブラケットにハード ディスクドライブを載せて、両側からハードディスクドライブ に添付してあるネジ4本でネジ止めする



4 取り付けの詳細は、増設する内蔵機器のマニュアルの手順に従う



- 手順2の逆の手順で、ハードディスクプラケットを装置前側に軽くスライドさせる
- 2ヶ所ねじ止めする
- ・電源ケーブルを接続する
 電源ケーブルは、2種類装備されています。
 増設する内蔵機器によっては、電源ケーブルを使わないものもあります。
- ・信号ケーブルを接続する
- ・ リムーバブルファイルを取り付ける場合は、ファイルベイカ パーを取り外し、別売のファイルベイカバーを取り付ける

増設したハードディスクドライブを確認する

ハードディスクドライブは、フォーマットが必要なものがあります。ハー ドディスクのフォーマット方法は増設用ハードディスクドライブのマ ニュアルをご覧ください。

増設したハードディスクドライブは、例えば次のような方法で確認する ことができます。

- 1 本機の電源を入れて、Windowsを起動する
- 2 Windowsのデスクトップの画面の「マイコンピュータ」をダブ ルクリック

増設した分だけ、ハードディスクアイコンも増えて表示されています。 また、増設したハードディスクドライブが1台でも、フォーマットする際 に、ハードディスクを分割した場合は、その分だけハードディスクアイコ ンが増えています。

増設したハードディスクドライブに、領域が1つも確保されていない場合 は、「マイコンピュータ」のドライブアイコンは増えません。

CD-ROM ドライプの取り外し/取り付け

本機には、5インチベイが2スロット用意されています。このベイは、CD-ROMドライブなどの内蔵機器を増設することができます。5インチベイ に標準で内蔵されているCD-ROMドライブを取り外して、ほかのファイ ルベイ用内蔵機器などに交換することもできます。

CD-ROM**ドライブの取り外し**

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
- 2 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.59)
- 3 左右のスプリングを矢印方向に押しながらCD-ROMドライブ を手前に引き、5インチベイシャーシを引き出す



4 CD-ROMドライブのオーディオケーブル、信号ケーブル、電源 ケーブルを取り外す



5 CD-ROMドライブを固定しているネジ2本を外して、CD-ROM ドライブを前方に引き抜く



CD-ROMドライブの取り付け

- チェック ? ここからは、取り付ける内蔵機器のマニュアルを見ながら取り付けてください。
 - 1 CD-ROMドライブをシャーシに差し込む
 - 2 ネジ2本でCD-ROMドライブを固定する



3 左右のスプリングを矢印方向に押しながらCD-ROMドライブ を手前に引き、5インチベイシャーシを引き出す



4 CD-ROMドライブの電源ケーブル、信号ケーブル、オーディオ ケーブルを接続する



- 5 カチッと音がするまでCD-ROMドライブを押し込み、5インチ ベイシャーシを固定する
- 6 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 7 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付ける(P.55)

5インチベイ用内蔵機器の増設

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
- **2** 「フロントマスクの取り外し」の手順で、フロントマスクを取り 外す(P.59)
- 3 プランクパネルを取り外す



4 5インチベイ用内蔵機器を5インチベイシャーシに半分ほど差し込む



5 5インチベイ用内蔵機器に添付されている信号ケーブル、装置 に装備されている電源コネクタをポリ袋から取り出し、接続す る

▼チェック! 接続方法は、5インチベイ用内蔵機器のマニュアルをご覧ください。





- 6 リムーバブルファイルを増設する場合は、「ファイルベイカ バーの取り外し」の手順で、ファイルベイカバーを取り外す (P.58)
- 7 5インチベイ用内蔵機器を奥まで差し込んで、CD-ROMドライ ブなどに添付してあるネジ2本で内蔵機器を固定する
- 8 フロントマスクを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- **9** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

CPU**の取り外し/取り付け**

◆チェック!
 べ
 CPUは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でCPUを扱うと、CPUが破損する原因となります。CPUに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、CPUを持つときは端子の部分を手で触れないように注意してください。

CPU**の取り外し**

MA40D/S、MA35D/Sの場合

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
- 2 「ハードディスクブラケットの取り外し」の手順で、ハードディ スクブラケットを取り外す(P.57)
- 3 FANケーブルコネクタを抜く



4 CPUの両側のレバーを、カチッと音がして、レバーが下図のような状態を保つまで内側に倒す ロックが解除されます。

- チェック · CPUのレバーには、無理な力をかけないでください。
 ・CPUの分解は絶対に行わないでください。
 - **5** 手順4の状態のままCPUを引き抜く



MA33H/S、MA30H/Sの場合

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
- 2 「ハードディスクブラケットの取り外し」の手順で、ハードディ スクブラケットを取り外す(P.57)
- 3 CPUの端(上)とロックレバーの間にマイナスドライバを入れて、CPUの端(上)を持ち上げるようにして矢印方向にマイナスドライバを倒すマイナスドライバを離したときにCPUの端(下)が見えるぐらいまでマイナスドライバを倒します。





4 CPUを引き抜く





CPU**の取り付け**

MA40D/S、MA35D/Sの場合

1 CPUの両側にあるツメ2ヶ所が外側に出ていることを確認する (ツメが外側に出ていない場合はCPUのレバーを矢印の方向に 動かして、ツメが外側に出ている状態にする)



2 CPUをレールに沿って挿入し、カチッと音がして両側にあるツ メが掛かるまで押し込む



3 CPUに付いているFANケーブルコネクタをマザーボードに接続する



- 4 ハードディスクブラケットを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- 5 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

MA33H/S、MA30H/Sの場合

1 ガイドレールに沿ってCPUを押し込む





- 2 ハードディスクブラケットを取り外したときと逆の手順で取り付ける
- **3** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)



周辺機器を利用する(省スペース型)

ここでは、省スペース型に接続できる周辺機器や内蔵機器の取り付け方 法について説明します。

この章の内容

接続できる周辺機器	
本体カバー類の取り外し	
増設 RAM サブボード(メモリ)の取り外し/取り付け	100
PCI ボードの取り付け	108
CPU の取り外し/取り付け	110


接続できる周辺機器

省スペース型には、次のような別売の周辺機器を接続できます。

MA40D/C、MA35D/Cの場合



オーディオ機器 プリンタなど

本体カバー類の取り外し

ここでは、周辺機器や内蔵機器を増設するときなどに必要なカバー類の 取り外し方について説明します。

ルーフカバーの取り外し

メモリやPCIボードなどの内蔵機器を増設する場合は、本体のルーフカ バーを取り外す必要があります。

- 1 本機の電源を切る
- 2 本体に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース 線など)を取り外す
- 3 盗難防止用の錠を使用している場合は、取り外す
- 4 縦置きにしている場合は、本体底面のネジを2本外し、スタビラ イザを取り外す
- チェック! スタビライザを外したときに、本体が衝撃を受けないよう、机の端などでスタ ビライザの取り外しを行ってください。また、スタビライザを落下させないよ う、スタビライザを必ず手に持って取り外してください。



5 背面のネジを2本外し、ルーフカバーを少し後方へ引き出して から、上方向に持ち上げて取り外す



▼チェック/ 取り外したネジは紛失しないように、手近な箱や袋などに保管してください。

ルーフカバーを取り付けるときには、次のように作業すると取り付けや

1 ルーフカバーを本体の刻印に合わせてかぶせる

ルーフカバーの取り付け

すくなっています。



2 ルーフカバーをフロントマスク側にスライドさせ、ネジ2本を 取り付ける



増設RAMサブボード(メモリ)の取り外し/取り付け

大量のメモリを必要とするOSやアプリケーションを使用する場合には、 別売の増設RAMサプボードを取り付けることで、メモリを増やすことが できます。

取り付け前の確認

本機に増設RAMサブボードを取り付ける前に、取り付けられる増設RAM サブボード、取り付け順序、スロットの位置を確認します。

MA40D/C、MA35D/Cの場合

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで増設できます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M018	32MB	
PK-UG-M019	64MB	
PK-UG-M020	128MB	
PK-UG-M021	256MB	

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が大きい方から埋まるように取り付けてください。 スロット#1から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット #1	スロット #0
32MB	32MB	-
64MB	64MB	-
	32MB	32MB
96MB	64MB	32MB
128MB	128MB	-
	64MB	64MB
160MB	128MB	32MB
192MB	128MB	64MB
256MB	128MB	128MB
512MB	256MB	256MB

スロットの位置



MA30H/C、MA30H/Lの場合

取り付けられる増設RAMサブボード

本機には、次の増設RAMサブボードを1枚単位で、最大2枚まで増設できます。

型名	メモリ容量	ECC 対応
PK-UG-M001	32MB	-
PK-UG-M002	64MB	-
PK-UG-M003	128MB	-

スロットへの取り付け順序

必ずスロット番号が小さい方から埋まるように取り付けてください。 スロット#0から順番に取り付けることになります。

増設RAMサブボード組み合わせ例

合計容量	スロット #0	スロット #1
32MB	32MB	-
64MB	64MB	-
	32MB	32MB
96MB	64MB	32MB
128MB	128MB	-
	64MB	64MB
160MB	128MB	32MB
192MB	128MB	64MB
256MB	128MB	128MB

スロットの位置



増設RAMサブボードの取り外し

- ジチェック?! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
 - 2 板金端面(手順3参照)に注意しながら、増設RAMサブボードの 左右のレバーを外側に広げる



3 板金端面に注意しながら、増設RAMサブボードを上へ引き抜く 取り外した増設RAMサブボードは静電気防止用の袋などに入れて 保管してください。



4 ルーフカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

増設RAMサプボードの取り付け

- ジチェック!! 増設RAMサブボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた 状態で増設RAMサブボードを扱うと、増設RAMサブボードが破損する原因と なります。増設RAMサブボードに触れる前に、身近な金属(アルミサッシやド アのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。 また、増設RAMサブボードを持つときは、ボードの縁の部分を持ち、金属の部 分には触れないようにしてください。特に、端子の部分を手で触れないように 注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
 - 2 増設RAMサブボードを板金端面に注意しながら、切り欠きAの 位置と誤挿入防止機構の位置を確認し、増設RAMサブボード用 コネクタに垂直に差し込む スロット#0、#1の順番に増設してください。
- ✓ チェック? 増設RAMサブボードには向きがあります。逆には差し込めないようになっていますが、向きを間違えたまま無理に差し込むと故障の原因になりますので注意してください。





3 左右2ヶ所のレバーが切り欠きBに掛かるように、増設RAMサ ブボードをしっかり押し込む



- ジチェック // 増設RAMサブボードがしっかり押し込まれたことを確認してください。しっ かり押し込まれていないと故障の原因となります。
 - **4** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)

メモリ容量の確認方法

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」の「システム」をダブ ルクリックし、「システムのプロパティ」の「全般」タブ(Windows 95の場 合は「情報」タブ)の中にメモリの容量が表示されます。

◆チェック // メモリを増設した場合、初期化のため、電源投入後ディスプレイの画面が表示
 されるまで時間がかかることがあります。

メモ

表示されたメモリ容量が正しくない場合は、メモリが正しく取り付けら れているか、本機で使えるメモリを取り付けているかを確認してくださ い。



PCIボードの取り付け

PCIスロットには、SCSIインターフェースボードなどのPCIボードを取り 付けることができます。

取り付け前の確認

取り付けられるPCIボードは、横幅が176mm以下、奥行が106mm以下となっています(ハーフサイズ以下)。ただし、専用スロットはLANボードまたは FAXモデムボードが取り付けられているために、専用スロットには取り 付けられません。



取り付け条件

PCI スロット #2	(空き)
PCI スロット #1	(空き)
専用スロット	LAN ボードまたは FAX モデムボード標準(固定)

専用スロットに取り付けられているLANボードまたはFAXモデムボードに接続されている電源ケーブルは取り外さないでください。

PCI**ボードの取り付け**

- CIボードは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でPCI ボードを扱うと、PCIボードが破損する原因となります。PCIボードに触れる 前に、身近な金属(アルミサッシやドアのノブなど)に触れて、身体の静電気を 取り除くようにしてください。また、PCIボードを持つときは、ボードの縁の 部分を持ち、金属の部分には触れないようにしてください。特に、端子の部分 を手で触れないように注意してください。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
 - 2 PCIスロットのネジを1本外し、PCIスロットカバーを引き抜く



3 PCIボードを取り付け、手順2で取り外したネジを取り付ける



4 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)

CPU**の取り外し/取り付け**

✓チェック! CPUは、静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態でCPUを扱うと、CPUが破損する原因となります。CPUに触れる前に、身近な金属 アルミサッシやドアのノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。また、CPUを持つときは端子の部分を手で触れないように注意してください。

CPU**の取り外し**

MA40D/C、MA35D/Cの場合

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
- 2 FANケーブルコネクタを抜く



3 CPUの両側のレバーを、カチッと音がして、レバーが下図のような状態を保つまで内側に倒す ロックが解除されます。





4 手順3の状態のままCPUを引き抜く



MA30H/C、MA30H/Lの場合

- 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
- 2 FANケーブルコネクタを抜く



3 CPUの端(上)とロックレバーの間にマイナスドライバを入れ て、CPUの端(上)を持ち上げるようにして矢印方向にマイナス ドライバを倒す

マイナスドライバを離したときにCPUの端(下)が見えるぐらいまでマイナスドライバを倒します。



ぐ チェック // CPUのロックレバーには無理な力をかけないでください。







CPU**の取り付け**

MA40D/C、MA35D/Cの場合

1 CPUの両側にあるツメ2ヶ所が外側に出ていることを確認する (ツメが外側に出ていない場合はCPUのレバーを矢印の方向に 動かして、ツメが外側に出ている状態にする)



2 CPUをレールに沿って挿入し、カチッと音がして両側にあるツ メが掛かるまで押し込む



3 CPUに付いているFANケーブルコネクタをマザーボードに接続する



4 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99) MA30H/C、MA30H/Lの場合

1 CPUをレールに沿って挿入し、レールにはさみ込まれるまで押し込む



2 CPUに付いているFANケーブルコネクタをマザーボードに接続する



3 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)



SCSI インタフェース機器の増設	118
ストラップスイッチの設定(ミニタワー型)	122
ストラップスイッチの設定(デスクトップ型)	125
ストラップスイッチの設定(省スペース型)	129

SCSIインタフェース機器の増設

ここでは、MA45D/Hに搭載されているUltra SCSIインタフェースボード (Wide対応)と、SCSIインタフェース機器の増設について説明します。

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)について

Ultra SCSIインタフェースボード(Wide対応)は16ビットのバス幅を持ち、 8ビットのバス幅であるUltra SCSIやSCSI-2インタフェース機器(以下 Narrow)に比べて2倍の転送速度を持ちます。これにより対応機器を接続 することで、より大量なデータを高速に処理することを実現します。

接続できる機器について

Ultra SCSIインタフェースボードには、次のような SCSI接続ケーブル、 SCSIインタフェース機器を接続することができます。

SCSI**接続ケーブル**

・Wide 対応用SCSIインタフェース機器接続ケーブル

型番	コネクタ形状	ケーブル長	添付終端 BOX
PC-CA513	ハーフビッチビンタイプ ハーフビッチビンタイプ	90cm	-
PC-CA514	ハーフビッチビンタイプ ハーフピッチビンタイプ	50cm	-

Narrow対応用SCSIインタフェース機器接続ケーブル
 以下のSCSI接続ケーブルを使う場合は、別売のUltra SCSI(Wide)ボード
 に添付のSCSIインタフェース変換アダプタが必要になります。

♥ チェック! WideからNarrowに変換した場合、再度Wideには絶対に変換しないでくださ
い。データが破壊されるおそれがあります。

型番	コネクタ形状		ケーブル長	添付終端 BOX
SV-98/2-K02	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチベローズ	90cm	ベローズタイプ
SV-98/2-K03	ハーフピッチベローズ	ハーフピッチベローズ	50cm	-
PC-CA507	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチピンタイプ	90cm	ピンタイプ
PC-CA508	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチベローズ	90cm	ピンタイプ
PC-CA509	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチピンタイプ	50cm	-
PC-CA510	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチベローズ	50cm	-
PC-CA511	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチピンタイプ	90cm	-
PC-CA512	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチピンタイプ	50cm	-
PC-HD1000GB				
PC-HD2000GB	ハーフピッチピンタイプ	ハーフピッチピンタイプ	90cm	ピンタイプ
装置添付ケーブル				

ぐチェック 上記以外のSCSI接続ケーブルは使用しないでください。

SCSIインタフェース機器

型番	装置の種類	装置内ケーブル長
PC-HD340E	ハードディスクドライブ	30cm
PC-HD540E	(固定ディスクドライブ)	
PC-HD540E2		
PC-HD720E		
PC-HD1000E		
PC-HD1000E2		
PC-HD2000E		
PC-HD1000G		
PC-HD2000G		
PC-HD2000UE*		
PC-HD4000UE*		
PC-HD4000UE/W**		
PC-DA12	ディスクアレイユニット	36cm
PC-CD180	СD-ROM ユニット	15cm
PC-CD600		
PC-CD60/7		45cm
PC-CD800		30cm
PC-OD302	光ディスクユニット	25cm
PC-OD302R		
PC-ODX	PD ユニット	30cm
PC-ODX66		
PC-BK4000	DAT ユニット	26cm
PC-BK8000H		27cm
PC-IN700/4CR,700/6CR	イメージスキャナ	10cm

上記表中のUltra SCSIインタフェース機器 * :Narrow

** :Wide

終端BOX

型番	形状
PC-CA591	Narrow 対応ビンタイプ
PC-CA592	Wide 対応ピンタイプ

接続時の注意

本機にSCSIインタフェース機器を接続するときには、あらかじめ次のことを注意してください。

接続できるSCSIインタフェース機器の台数

- ・接続できるSCSIインタフェース機器の台数は、ケーブルの総線長(最大300cm以内)によって制限されます。「接続できる機器について」を参照し、以下の式に従って接続するケーブルの総延長から接続できる機器の台数を確認してください。
 - (全接続ケーブル長の合計)+(接続するSCSIインタフェース機器の 装置内ケーブル長の合計) 300cm
- ・Ultraに設定したUltra SCSIインタフェース機器を4台以上接続する 場合は、ケーブルの総延長は150cm以内にしてください。

終端の設定

外付け用SCSIインタフェース機器を接続する場合は、最後に接続する SCSIインタフェース機器のマニュアルに従って必ずSCSIコネクタに 終端BOXを取り付けてください。SCSIインタフェース機器内部に終端 機能があるものについては、SCSIインタフェース機器内部の終端機能 (ターミネータ)をOFFにして終端BOXを取り付けてください。

SCSI ID No.の設定

本機のUltra SCSI(Wide対応)インタフェースのSCSI ID No.と内蔵終 端は、次のように設定されています。

SCSI ID No.=7、終端の設定=ON

ファイルペイ増設用SCSIインタフェース対応機器や、外付用SCSIイン タフェース対応機器は、SCSI ID No.を上記以外の値に設定して使用し てください。

データ転送速度の設定、その他詳細な設定

本機にSCSIインタフェース機器を接続するときに、接続する台数や種類によっては、本機に内蔵されているUltra SCSIインタフェース(Wide 対応)の設定ユーティリティ「SCSI SELECT」で設定を変更する必要が あります。SCSI SELECTの使用方法については『活用ガイド ハード ウェア編』をご覧ください。



リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)を利用したい場合や、 BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、 ストラップスイッチを設定します。

ストラップスイッチを設定してリング機能を使用する

リング機能とは、FAXモデムボードが内蔵されているモデル、または別売 のFAXモデムを取り付けてFAXや電話を受信すると、スタンバイ (Windows 95の場合はサスペンド)状態から復帰する機能です。 リング機能を使用する場合のストラップスイッチの設定には、「PCIバス/ シリアルコネクタ1」と「3ピンケーブル」の設定があります。

・ PCI バス/シリアルコネクタ 1	シリアルコネクタ1に外付けFAXモ
	デムを取り付けた場合
・ 3ピンケーブル	FAXモデムボードが内蔵されてい
	るモデルの場合
	3ピンケーブルにより、電源の自動
	操作を行うモデムを取り付けた場
	合

ストラップスイッチの変更方法は次の通りです。

1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12) 2 ストラップスイッチを変更する



3 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。 通常のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定」の「セキュリティの設定」をご覧ください。

- ジチェック
 欠 チェック
 欠 無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を 取り付けることをおすすめします。
 - 1 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)

2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く 抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



3 レフトカバーを取り外したときと逆の手順で取り付ける

4 電源を入れ、Windowsを起動する

● チェック / 必ずレフトカバーを取り付けた後に電源を入れてください。

- 5 Windowsを終了し、電源を切る
- 6 「レフトカバーの取り外し」の手順で、レフトカバーを取り外す (P.12)
- 7 手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む
- **8** 「レフトカバーの取り付け」の手順で、レフトカバーを取り付け る(P.14)



リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)を利用したい場合や、 BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、 ストラップスイッチを設定します。

ストラップスイッチを設定してリング機能を使用する

リング機能とは、FAXモデムボードが内蔵されているモデル、または別売 のFAXモデムを取り付けてFAXや電話を受信すると、スタンバイ (Windows 95の場合はサスペンド)状態から復帰する機能です。 リング機能を使用する場合のストラップスイッチの設定には、「PCIバス/ シリアルコネクタ1」と「3ピンケーブル」の設定があります。

ストラップスイッチの変更方法は次の通りです。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53) MA40D/S、MA35D/Sの場合





3 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用して、スーパバイザパス ワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れ てしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。 通常のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド ハードウェア編』の 「PART2 システム設定」の「セキュリティの設定」をご覧ください。

- ジチェック // 無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を 取り付けることをおすすめします。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
 - 2 ストラップスイッチのジャンパを次の図のように引き抜く 抜いたジャンパはなくさないように保管してください。



MA40D/C、MA35D/Cの場合

5

MA33H/S、MA30H/Sの場合



- **3** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)
- 4 電源を入れ、Windowsを起動する

▼チェック // 必ずルーフカバーを取り付けた後に電源を入れてください。

- 5 Windowsを終了し、電源を切る
- 6 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.53)
- 7 手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む
- 8 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.55)



ストラップスイッチの設定(省スペース型)

リング機能(FAXモデムによる電源の自動操作)を利用したい場合や、 BIOSセットアップメニューで設定したパスワードを解除したいときに、 ストラップスイッチを設定します。

ストラップスイッチを設定してリング機能を使用する

リング機能とは、FAXモデムボードが内蔵されているモデル、または別売 のFAXモデムを取り付けてFAXや電話を受信すると、スタンバイ (Windows 95の場合はサスペンド)状態から復帰する機能です。 リング機能を使用する場合のストラップスイッチの設定には、「PCIバス/ シリアルコネクタ1」と「3ピンケーブル」の設定があります。

•	PCI バス/シリアルコネクタ 1	シリアルコネクタ1に外付けFAXモ
		デムを取り付けた場合
•	3ピンケーブル	FAXモデムボードが内蔵されてい
		るモデルの場合
		3ピンケーブルにより、電源の自動
		操作を行うモデムを取り付けた場
		合

ストラップスイッチの変更方法は次の通りです。

1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97) 2 ストラップスイッチを変更する

MA40D/C、MA35D/Cの場合



ស チェック! MA30H/C、MA30H/Lにはリング機能のストラップ設定はありません。

3 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)

パスワードの解除(パスワードを忘れてしまった場合)

本機では、BIOSセットアップメニューを使用してスーパバイザパスワードとユーザパスワードを設定できます。これらのパスワードを忘れてしまった場合、次の方法でパスワードを解除することができます。 通常のパスワードの解除の方法は、『活用ガイド ハードウェア編』の「PART2 システム設定の「セキュリティの設定をご覧ください。

- チェック!! 無断でパスワードを解除することを防ぐために、セキュリティロックに錠を 取り付けることをおすすめします。
 - 1 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)

2 ストラップスイッチのジャンパを上に引き抜く 抜いたジャンパはなくさないように保管してください。

MA40D/C、MA35D/Cの場合



3 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)
4 電源を入れ、Windowsを起動する

▼チェック! 必ずルーフカバーを取り付けた後、電源を入れてください。

- 5 Windowsを終了させ、電源を切る
- 6 「ルーフカバーの取り外し」の手順で、ルーフカバーを取り外す (P.97)
- 7 手順2で引き抜いたジャンパをストラップスイッチに差し込む
- **8** 「ルーフカバーの取り付け」の手順で、ルーフカバーを取り付け る(P.99)



ハードウェア拡張ガイド

PC98-NX >U-x Mate NX

初版 1998年11月 NEC P

このマニュアルはエコマーク認定の 再生紙を使用しています。

808-877675-091-A